

2021
7月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 203 号-① 【基準日 2021 年 6 月 30 日】



🌸 社長メッセージ



長期的な時間軸で考えて分散投資する



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も7月になり折り返し地点を過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか？

国内では緊急事態宣言が先月解除されて、ワクチン接種が加速している中、今のところ東京五輪は予定通り開催される見通しです。各国選手団を迎えてオリンピックを開催するにあたって感染対策をどうするのか、観客をどうするのか大きな課題となっていますが、足元東京の新型コロナウイルス感染者数は増加しており、リバウンド傾向が鮮明になってきています。

東京五輪の開催で多くの人国内を移動すれば感染者が全国で自然と増えてくることは、新型コロナ大流行の過去1年を振り返って考えてみれば明らかですので、ワクチン接種だけでなく、感染対策や感染者が増加した際の医療提供体制強化なども開催準備と同時にしっかりと進めてほしいと願うばかりです。コロナ収束の気配が依然として見えてこない中、今年も帰省や夏休みの計画を立てられない方が少なくないと思います。

これから梅雨明けすれば、夏本番で暑さも厳しくなってきますので、コロナだけでなく熱中症などにも気を付けて、日々の生活を大事にして過ごしていきましょう。



景気回復期待で世界株式市場は上昇



さて、先月6月のマーケットですが、引き続き欧米を中心にワクチン接種が加速したことによる経済活動正常化による景気回復期待から株式市場は上昇して始まりましたが、米国での物価上昇率の高まりによる金利上昇、金融緩和正常化に向けての早期の利上げ開始観測により一時的に大きく下落する局面もありましたが、米国バイデン大統領のインフラ投資計画が合意されたこと、米国の金融緩和は当面続きテーパリングはまだ先であるとの見通しなどから金利上昇が一服したことにより、グロース株を中心に上昇した1ヶ月となりました。米国ではS&P500、ナスダックともに最高値を更新しました。一方で、日本株市場については新型コロナウイルスの感染拡大を懸念して上値の重い1ヶ月となり、TOPIXは小幅に上昇しましたが、日経平均株価は下落して1ヶ月を終えました。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

そのような中で、皆さまのありがとうファンドの先月の騰落率は月間で2.5%の上昇となり、先月に続いて基準価額、純資産額ともに過去最高値を更新いたしました。世界株は2.4%の上昇でしたので相対的にややアウトパフォームした1ヶ月でした。参考までに日本株TOPIX配当込みについては+1.2%の上昇に留まりました。

金融相場から業績相場への移行を見据える展開

今後のマーケットについては、引き続きワクチン接種・普及スピードによる国・地域ごとの新型コロナウイルスの感染収束・景気回復期待と個別銘柄の決算内容や今後の業績見通しに注目が集まっていくとともに、インフレ懸念と米国長期金利の水準や米国バイデン政権のインフラ投資計画による財政拡大政策と金融緩和縮小(テーパリング)の時期など、引き続き各国政府・中央銀行による金融緩和・景気対策・財政出動の持続性に左右される相場展開になると思われます。過剰流動性の金融相場が続く中、景気回復期待を背景とした国・地域での格差や個別企業の業績によるパフォーマンスの格差も出始めており、金融相場から業績相場への移行も見据えながら、国・地域の分散と個別銘柄の選別が引き続き重要になってくると考えます。今後も世界の株式市場は上下にボラティリティの高い相場状況が続くと思われます。

長期的な時間軸で考えて分散投資することが大切

資産運用を行っていく上では目標・目的に向かって継続していくことが大切ですが、その際に長期的な時間軸で考えて分散投資をしていく必要があります。私達はどうしても目の前のことや近い将来のことが気になってしまいますが、将来に向けた資産形成のゴールはずっと先で5年後、10年後、20年後になりますので、現在、良さそうだと思われる投資行動が長期的に考えると実は良くなかったということが起こりえます。例えば、今、注目されているテーマや人気があって値上がりしている資産や商品に一度に集中投資したくなったりしますが、長期的な時価軸で考えれば、一時的なブームや人気、流行りのテーマは流行り廃れが激しく賞味期限はせいぜい半年から1年程度しかないことが多いので、長期の資産運用では、むしろそれらに振り回されないようにすることが大切になってくるでしょう。

分散投資には国・地域の分散、投資対象の分散、時間の分散がありますが、長期的な時間軸の中で考えて時の試練に耐えてきた伝統的な資産に国際分散投資をしていくこと、一度にすべて投資せずに時間分散もしていくことが大切であると考えます。現在はコロナショック後の金融緩和による過剰流動性のカネ余りの金融相場なので様々な資産が上昇している状況ですが玉石混淆です。こういうときはお金が余っているので、通常だったらリスクがあって敬遠されるような資産であっても、値上がりするから投資をするという人が少なくありません。しかしながら、金融相場が終われば実体がないもの、価値がないものは当然に値下がりすると思われるので、こういう相場環境の良いときほど、むしろ周りよりも慎重になって長期的な時間軸で物事を考えて投資先を厳選した上で、分散投資を徹底していくことが、資産運用で成功するための王道であるのではないかと考えます。

弊社では、引き続きお客様から託された資金を持続的に利益成長していける質の高いクオリティグロース企業を中心に厳選して長期投資し、幅広く世界に国際分散投資することでダウンサイドリスクを抑えながら優れた運用成果の提供を目指して参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。



🌸 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	23,024円	+18.6%
3年	19,409円	+40.6%
5年	18,412円	+48.3%
10年	14,047円	+94.3%
初回(2004年10月)から	11,988円	+127.7%



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	14万2266円
3年	36万円	50万6297円
5年	60万円	88万9512円
10年	120万円	233万1898円
初回(2004年10月)から	201万円	457万6483円

2021年6月30日現在(基準価額:27,296円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2021年 7月分	6月3日(木)	6月24日(木)	7月6日(火)	7月14日(水)	7月16日(金)
2021年 8月分	7月5日(月)	7月27日(火)	8月6日(金)	8月17日(火)	8月19日(木)
2021年 9月分	8月5日(木)	8月25日(水)	9月6日(月)	9月14日(火)	9月16日(木)
2021年 10月分	9月3日(金)	9月24日(金)	10月6日(水)	10月14日(木)	10月18日(月)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

7月	5日(月)	独立記念日(振替)	ニューヨーク証券取引所休業日
8月	-	-	-
9月	6日(月)	労働者の日	ニューヨーク証券取引所休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。